

警察庁によると、2024年の行方不明者届受理数は8万2563人で、前年比7581人減少、このうち認知症に関わる行方不明は1万8121人で、前年比918人減少しました。年齢層別では10歳代が最多で、10～20歳代の

認知症行方不明者をなくそう

若年層で全体の約4割を占めています。原因・動機別では認知症を含む疾病関係が最多。都道府県別では、大阪府が2086人で、次いで神奈川県、埼玉県、愛知県、兵庫県などとなっています。

ます。発見場所を分析したところ、発見時に死亡していた491人のうち78%余りの382人が、行方不明になった場所から5^キ圏内で見つかったことがわかりました。亡くなった場所は河

川や河川敷が115人で最多、水路・側溝が79人、

山林が71人などとなっています。早期に発見して保護することが大切で、徘徊^{徘徊}している高齢者を見かけたら、すぐに関係機関に通報しましょう。

防犯一口メモ